

田中裕規 議員レポート

2017年 10月号 No.2

- 今回は、9月4日～20日まで開催された平成29年第4回 三原市議会定例議会を中心に状況報告と活動状況をみなさまにご報告致します。

1. 所属会派及び委員会

- 会派 新風会
- 委員会 経済建設委員会 委員
駅前東館跡地活用調査特別委員会 委員
議会広聴部会 委員

2. 9月定例議会概要

提出議案	11件	可決
	22件	継続審査
報告案件	2件	
請願*1	1件	否決

*1: 三原駅前市民広場への「中央図書館移転を含めた施設建設」の中止を求める請願

3. 9月定例会議一般質問で問う

9月の定例議会において、今後の三原市の在り方を問う一般質問を新人のトップバッターとして行いました。

一番目の質問は「築城450年事業」後の交流人口拡大の施策についてですが、新しい自治体の在り方として、これまでの企業城下町から脱却するために、行政自ら積極的にPR活動いわゆる営業活動をする組織編制を要望する内容です。

二番目の質問は、将来の地域コミュニティ交通として「自動運転バス」の実証実験が全国各所で動き出している中、まったく関心を寄せない三原市に気付きを求めた内容です。

以下に、一般質問の概要を記載致します。



三原市議会議員
田中ひろき

- ◇ プロフィール
1959年8月9日生
東京農工大学工学部
大学院卒
元帝人㈱社員
家族構成
妻と息子3人

- ◇ 連絡先
三原市港町三丁目
16番13号
携帯 090-7137-0440
FAX 0848-64-8911

(1) 築城450年事業後の交流人口拡大の施策について

- ①「築城450年事業」の期間が11月で終了するが、この事業を通し成果として何が形として残ることになるのか。
- ②事業終了後も交流人口拡大の活動は継続していくことが重要だが、事業終了後の具体的な施策はあるのか。また、あればどのような施策を行う予定か。
- ③人口減少や少子高齢化が進む中、選ばれる自治体を目指すため、シティプロモーション活動（自治体の営業活動）を役目とする新たな横断的な機能組織を設け、三原市の独自性を打ち出し、情報発信を戦略的に行う活動をしてはどうか。

※シティプロモーションの必要性を行政も認識し、三原市は誰に対して何を売っていくのかを明確にすることから始めるとの回答を得ました。三原市の魅力と強みを明確にし、三原のブランドを作り、戦略的に三原の魅力を情報発信して選ばれる自治体にしていくことが今後必要であり、早急に営業活動組織を編成する様に要望を行いました。



(2) 地域コミュニティ交通に関する将来の革新技术への働きかけについて

- ①ここ2年を評価してバス路線の系統廃止や地域コミュニティ交通の維持不要（廃止）に該当する路線はないのか、状況について示されたい。
- ②地域公共交通の活性化と地域公共交通を守る市民意識の醸成と利用環境整備の推進が「市地域公共交通網形成計画」に目標として挙げられているが、具体的な活動内容と成果はどのようなになっているのか。
- ③革新的な解決策として「自動運転バス」の実用化推進の動きが見られるが、「離島によるバス自動運転の実証実験」の候補地として、佐木島も名乗りを上げておくような革新的な取り組みも三原市は必要ではないか。

※生活環境課より内閣府へ確認したところ、今後の参考情報として佐木島循環バスの資料提供を受ける了解が得られたため、資料提供を行うとの回答を得ました。地域コミュニティ交通の革新技术をどのように取り入れて行くかはこれからですが、将来の地域コミュニティ交通の在り方を他自治体に先駆けて示すよう要望しました。

4. トピックス

(1) 駅前東館跡地活用事業について

駅前東館跡地の活用を図るため、公共施設（図書館及び広場等）を一部導入して民間開発による活用検討が進められています。提案審査会で提案書が審議され優先交渉権者の決定が行われる予定です。駅前の集客起爆剤として、どのような提案が出されるのか注目していきたいと思います。

(2) 不燃物処理工場の有価物に関する調査について

現在、警察の捜査に行政は協力する形で調査を継続中であり、継続して誤差の原因究明に努め、原因が明らかになった時点で警察と協議して法的な措置を講じるとの説明がありました。

5. 活動報告&お知らせ

(1) 佐木島八十八カ所お大師さん巡りの市民提案型協働事業について

「いつでも一日で巡れる佐木島八十八カ所お大師さん巡り」のキャンペーンを10月1日から来年9月末まで行います。ポスターやチラシ、マップとスタンプ台帳も用意されていますので、楽しみながら巡礼できる健康ウォーキングコースとして多くの方の活用をお待ちしております。23カ所のスタンプを集めると素敵なプレゼントも貰えます。

(主催：さぎしまを愛するボランティアガイド)



(2) ペアシティ西館1階空きスペースを活用したワンテーブルショップ計画



空きスペースや空き店舗を活用して、手作り雑貨やアクセサリ、手作り野菜などを1日単位で販売できる企画を計画中です。「作って物を売ってみたい。」という思いはあるけど、商売をするにはハードルが高いと思っておられる方は、長机単位で1日から安く出店できるワンテーブルショップを開いてみませんか。ちょっとチャレンジしてみたいと思われる方は田中ひろき後援会事務所まで連絡をお願い致します。

(3) 三原港の案内表示改善

三原港の案内表示が改善されました。三原港から大久野島行の案内表示も英語表記が加わり分かりやすくなっています。



また、殺風景だった改札ホールには、三原観光アニメパネルが設置され、見ていて楽しくなる少し明るいイメージに変わっています。是非立ち寄ってみてください。



(4) “第28回トライアスロンさぎしま”を終えて

28回目となる「トライアスロンさぎしま」が8月20日、炎天下の中、433人の選手が参加して開催されました。本大会は地元の島民や市内の中学生と大学生のボランティアにより支えられています。この先の継続が危ぶまれています。



この大会の継続に

は、三原市のビッグイベントとして市が全面的にバックアップする新たな大会運営体制の構築と、島民以外の市民のみなさんのボランティア参加体制の強化が必要であると考えます。皆様のご協力をお願い致します。

6. あとがき

9月の定例議会が終了しました。初めての一般質問に立ち、これからの三原市の進むべき方向性について質問しました。三原市のこれまでの施策は、“可もなく不可もなく、総花的な施策で特徴がなく、成果も目に見えてこない”という印象です。その原因は、明確なビジョンがなく、それに向かって突き進んでいこうという姿勢が薄いためと思われます。そこを変えて行くことが私の使命のひとつと思っています。少しずつでも三原が変わってきたと感じ取れるよう頑張ってみますので、引き続きよろしくご協力をお願いします。